



き ず な



～一致団結～

道徳「挨拶がなんになる？」

先週の木曜日の道徳の授業では、「あいさつ」について授業がありました。あいさつを行う理由と必要性などを考える時間になりました。クラスをのぞいてみると、「礼儀」「会話を始めるタイミングをとる」「あいさつされると嬉しいから自分からする」などの考えがありました。みんなの日常生活を見てみると形式的にあいさつをしている人がいるようです。あいさつしない人と比べると良いことをしているとします。しかし、気持ちのこもったあいさつを聞きたいものです。さて、気持ちのこもったあいさつとはどんなあいさつでしょうか？考えたことありますか？卒業生に大変すばらしい生徒がいました。廊下ですれ違ったときに、立ち止まって姿勢を正して「おはようございます」「こんにちは」「さようなら」が言える人がいました。この人は、なんで素晴らしいのでしょうか？考えてみましょう。

実際の生活を考えると、ヒントはたくさんあります。例えば、初対面の人と会った際の一言目は何でしょう。ほとんどの人が「こんにちは。始めまして。」だと思います。知らない人だから無視をするのは絶対ないですね。相手の方からのあいさつを待つのは、情けないことだと思います。反対に、しっかりあいさつできる人は、好感がもてます。自分から勇気を出して、気持ちのこもったあいさつを行いましょう。



1組の様子



2組の様子



3組の様子



作文紹介(1組編)

入学して間もないころ、中学校生活でがんばりたいことなどの決意を文章にしました。紙面の関係で全員の作文を掲載することができません。また、ホームページに掲載する際は、氏名の部分は削除して掲載します。ご了承ください。

「大切にしたいこと」

私が中学校生活で大切にしたいことは「友達」です。また、クラスや学年の「仲間」でもあります。

昨年度、小学校生活最後の一年は、新型コロナウイルスのせいで最初は学校に行くことができず、その後も様々なことを制限されました。楽しみにしていた行事はほとんどなくなってしまい、友達と思い出をつくることができず、とても悲しかったです。しかし、クラスのみんなは落ち込むだけでなく前を向き、こんな時だからこそできることを考えました。気分転換を友達と一緒にやるのができたので、充実した日々を過ごすことができました。友達がいないければ毎日つまらなかったと思いました。

そして、ついに中学校に進学をしました。あっという間で少し不安な部分がありました。特に入学式で一番最初に入場し、一番最初に呼名の返事をした時はとても緊張しました。しかし、緊張したのも最初だけでクラスみんなはとても温かく、毎日ドキドキしながらも楽しく学校に通っています。私自身が「友達」を大切にしなければ、学校はあまり楽しいものではないと思います。だから、私はこれまで以上に「友達」「仲間」を大切に、毎日笑顔で生活していきたいです。

「自主的で周りを気づかえる人」

私が中学校に入ってがんばりたいことは、自主的に取り組むです。小学校の時は、何となく周りに流され、友達の行動を真似するということがありました。だから、これからは自分で何をするか、何をしなければいけないのかを考えていこうと思います。例えば、教科教室型になって二つ先の授業のことを考えて動こうと思いました。他にも、授業で積極的に考えようと思います。限られた時間の中で、予習・復習に力を入れ工夫をして取り組みます。

また、私が中学校になって大切にしたいことは友達などへの言葉遣いです。話をしている時に何気なく言った言葉で傷つけてしまうことがないようにしたいです。だから、自分が言った言葉に対して相手がどのような気持ちになるのか一度考えてから言うようにしようと思います。

自主的に取り組むと言葉遣いに気をつけることを目標にした理由は、小学校のときにできなかったからです。克服するために、些細なことから始め、積極的に行動し、周りの人を気づかうことができるようがんばります。